



2016年度  
第2四半期 決算補足資料  
2016年11月2日

株式会社UACJ

## 1. 2016年度上期業績・通期業績予想

## 2. トピックス

# 1. 2016年度 上期業績・通期業績予想

## 経常利益 74億円（対前年同期比 1億円増）

- 数量：缶材・自動車向けが伸長し、対前年同期比増
- 経常利益：対前年同期比 1億円（0.9%）増
  - ・ 販売数量の増加、コストダウンによる増益
  - ・ 棚卸評価関係の悪化等による減益

## 通期業績予想 変更なし（2016年度 経常利益 200億円）

## 中間配当 3円／株を実施

- 中間配当3円／株を実施、期末配当3円／株を予定（年間合計6円／株）

# 2016年度 上期業績



(単位：億円)

	2015年度 上期 (A)	2016年度 上期 (B)	増 減 (B) - (A)
連結売上高	2,914	2,789	△125
連結営業利益	89	104	15
棚卸影響前 連結経常利益	90	109	19
連結経常利益	73	74	1
連結当期純利益	43	22	△22
Adjusted EBITDA	243	268	25

※ 連結当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ Adjusted EBITDA：EBITDA - 棚卸評価関係

# セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)

	2015年度 上期 (A)		2016年度 上期 (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	2,328	104	2,229	119	△100	15
伸銅品	244	4	217	0	△27	△3
加工品・関連事業	833	18	794	15	△40	△3
(調整額)	△492	△37	△450	△30	42	7
合 計	2,914	89	2,789	104	△125	15

# 連結経常損益分析

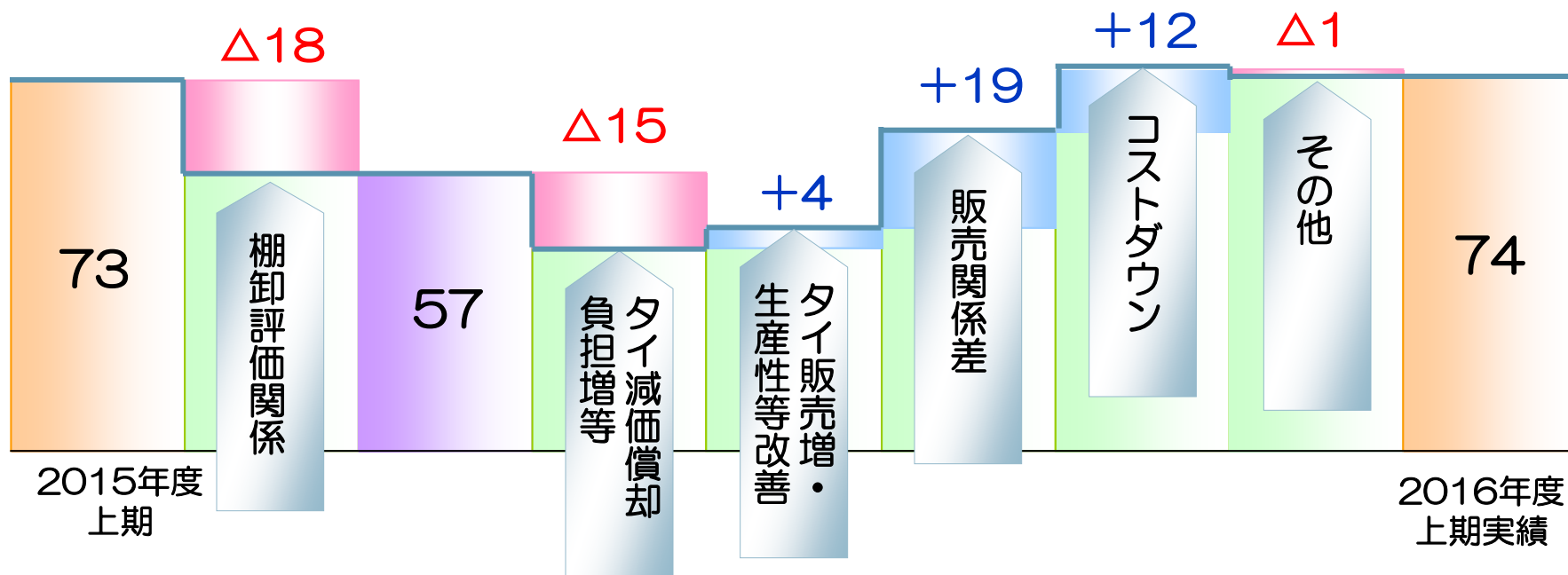
(2015年度 上期 → 2016年度 上期)

73 億円 (2015年度 上期) → 74 億円 (2016年度 上期)

統合効果差 +12億円を含む  
(2015年度 上期実績 36 億円 → 2016年度 上期実績 48億円)

16年2Qまでの  
統合効果累計 88億円

(単位：億円)



# アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2015年度上期 (A)	2016年度上期 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	301	331	30
箔 地	23	24	1
I T	12	8	△3
自 動 車	36	45	9
厚 板	30	32	2
その他一般材	70	77	6
合 計	472	517	44
	( 国内市場向け 259 ) ( 海外市場向け 213 )	( 国内市場向け 261 ) ( 海外市場向け 256 )	( 2 ) ( 42 )



# 連結経常損益分析

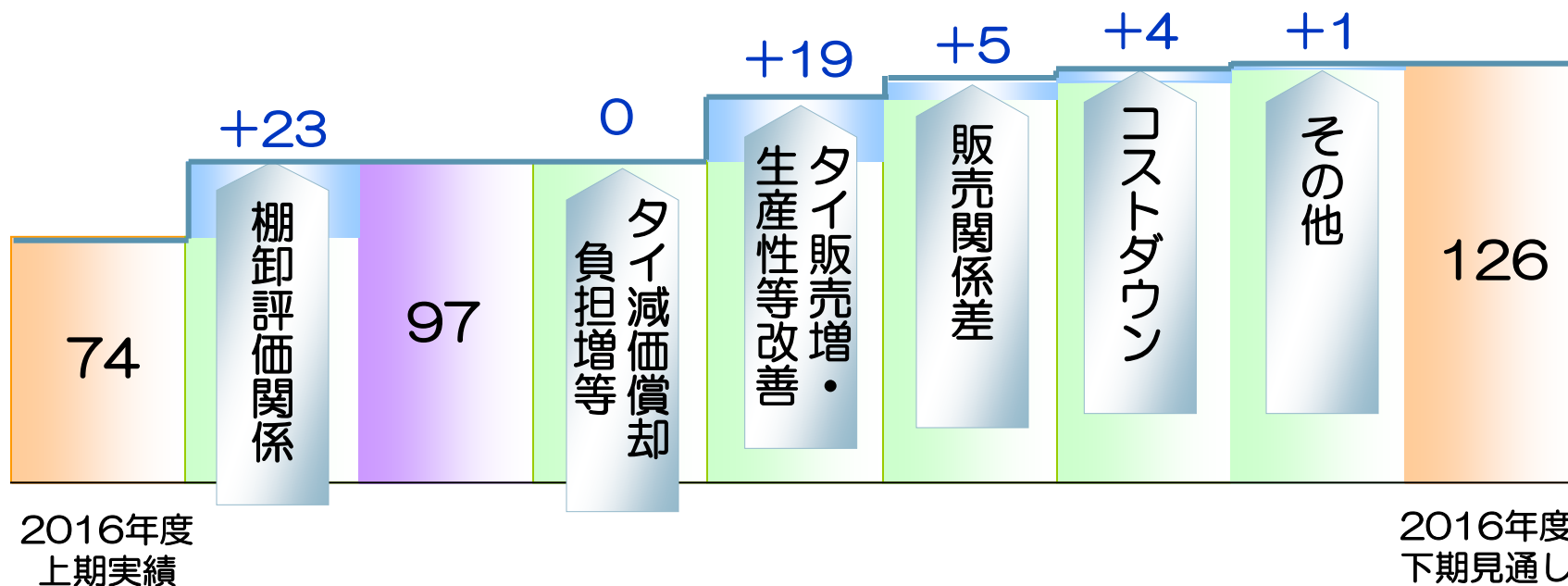
(2016年度 上期実績 → 2016年度 下期見通し)

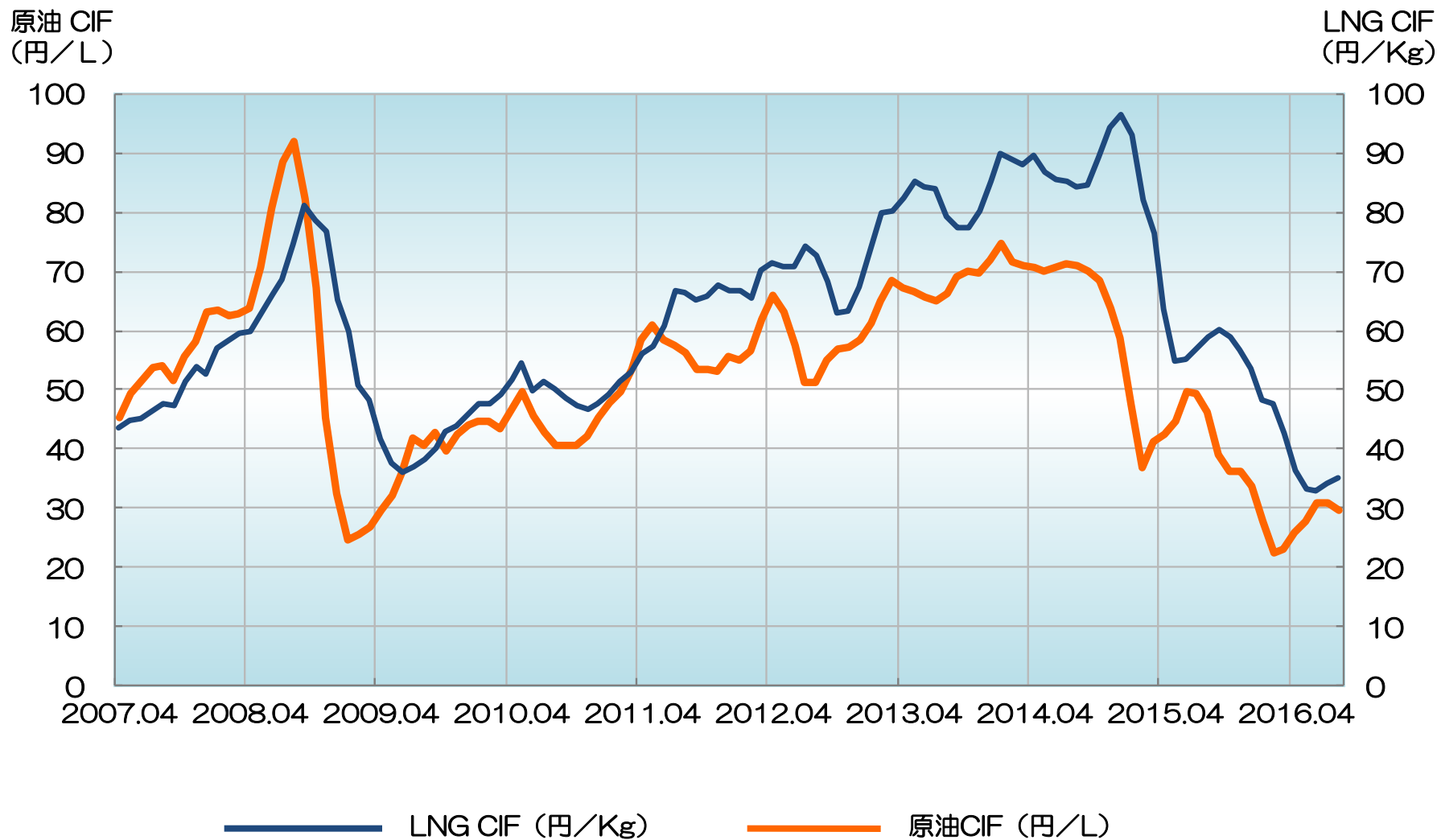
74億円 (2016年度 上期) → 126億円 (2016年度 下期見通し)

統合効果差 +4億円を含む

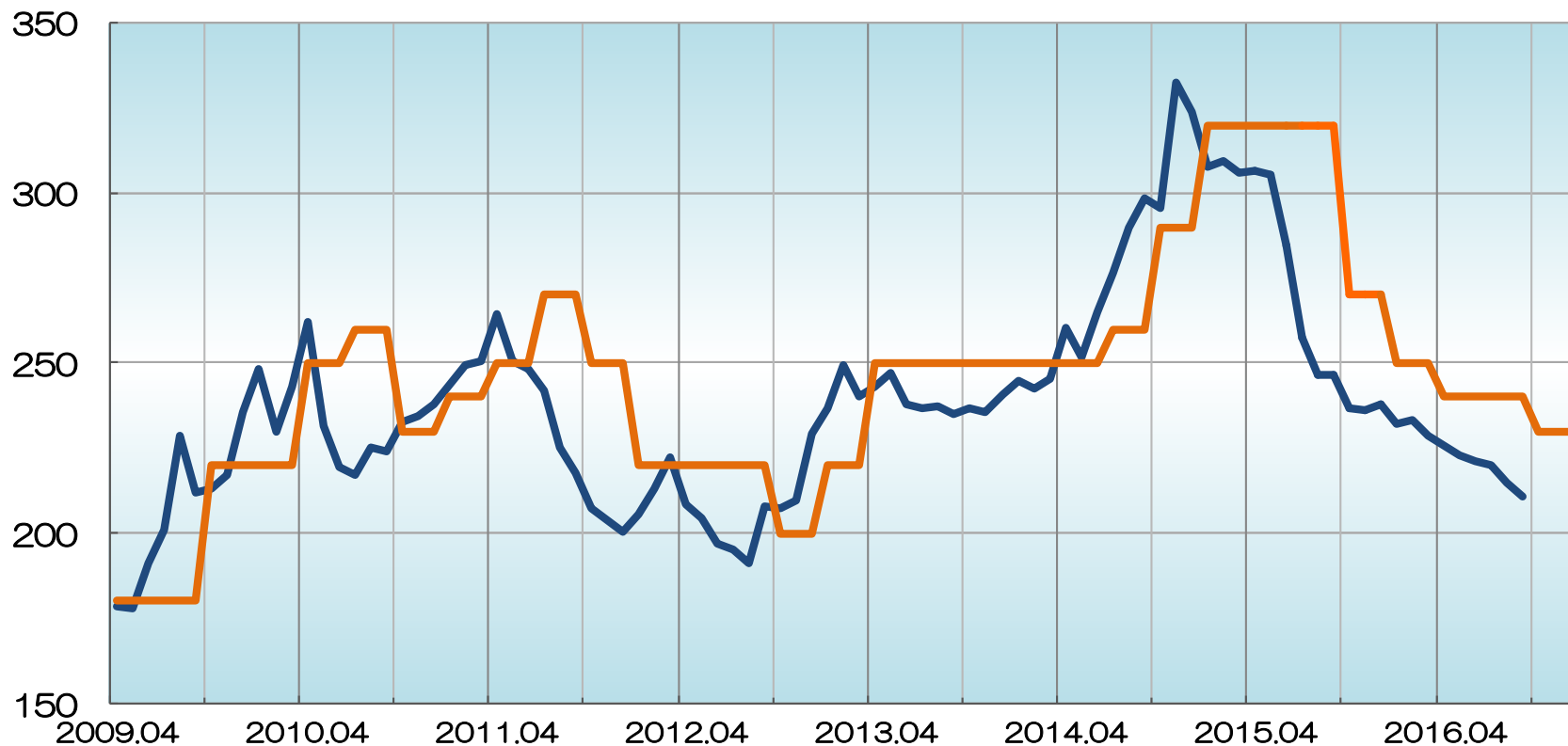
(2016年度 上期実績 48億円、2016年度下期見通し 52億円)

(単位：億円)





(円/Kg)



— アルミ日経市況      — アルミ基準地金

	2016/3末	2016/9末
自己資本（億円）	1,650	1,512
自己資本比率（％）	24.9	23.6
有利子負債（億円）	2,890	2,923
D/Eレシオ（倍）	1.75	1.93
ROE（％）	3.0	5.6

※ ROEは年ベース換算値

# 設備投資・減価償却費

(単位：億円)

		2015年度 上期	2015年度 通期	2016年度 上期	2016年度 通期見通し
設備投資	一般投資	55	124	50	115
	戦略投資	88	181	84	245
	合計	143	305	133	360
減価償却費		108	222	111	227
戦略投融资		-	55	195	260

※ 通期見通しは当初予定通り

## 2. トピックス

## 日・米・タイの3極によるグローバル供給体制

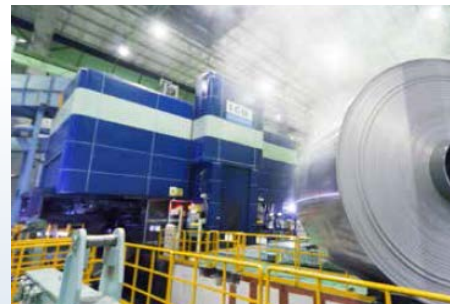
国内：名古屋から福井への品種移管による生産効率向上

北米：ローガン工場で自動車向け供給を始めているが、能力を増強し、缶材の数量は落とさずに供給

タイ：ラヨン製造所 10月に月産1万t到達



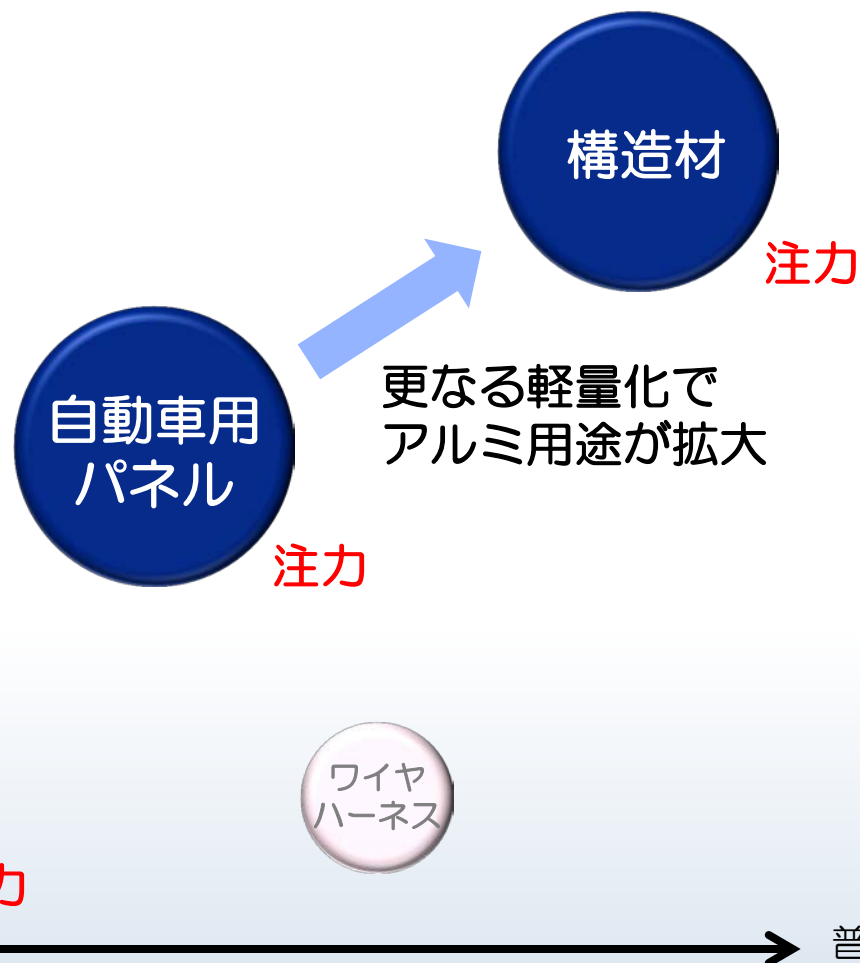
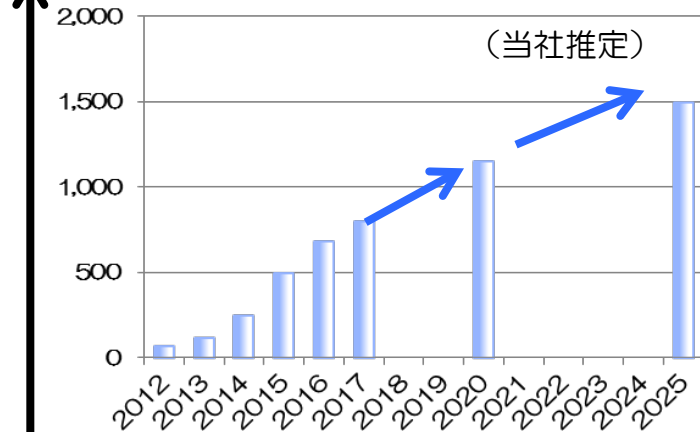
米国 ローガン工場



タイ ラヨン製造所

## 市場拡大が期待される自動車用パネル、構造材、熱交材に注力

用途 (千t) 北米 自動車用パネル材市場需要 (当社推定)





自動車軽量化に対応し、パネル材、構造材、加工品の  
需要拡大を確実に捉える

ローガン工場：自動車用パネルの母材供給を拡大

CUA\*：6月より稼働し、サンプル出荷を開始

UWH\*\*：グループ連携を図り、構造材・加工品で成長加速

グループ・部門を横断する「自動車事業推進本部」を10月に新設  
グローバルな「自動車の軽量化ソリューション・プロバイダー」に



CUA\*



UWH\*\*

CUA\*: Constellium-UACJ ABS

UWH\*\*: UACJ Automotive Whitehall Industries

生産品種移管は概ね予定通り。最適な生産体制構築へ

2015年度 約6割移管完了

2016年度 概ね予定通り、生産品種移管を実行中  
需要の変化にも対応

統合効果を最大化し、盤石なコスト競争力を構築

## 【各製造拠点の位置づけ】

- 〈福 井〉 缶材とLNG船用厚板主体の基幹工場
- 〈名古屋〉 自動車材、印刷版用板材、フィン材の基幹工場
- 〈深 谷〉 厚板主体の基幹工場
- 〈日 光〉 精密特殊材主体の仕上専門工場

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報IR部 TEL : 03-6202-2654 FAX : 03-6202-2021

URL : <http://www.uacj.co.jp>

(東証1部 コード番号 : 5741)